

戸田市水道ビジョン2014（改訂版） 事業評価シート 令和6年度事業評価

施策	評価の視点		評価段階	(参考)R5 個別評価	(参考)R5 施策評価	R6 個別評価	R6 施策評価	コメント【実施内容・今後について】	担当名
1 「安全」で安心して飲める水道									
(1) 地下水の保全と適正な利用	①事業計画の実施状況	[計画的に実施：A、計画に遅れがある：B、未実施：C]	A	A	A	A	A	設備の老朽化が進行している1号・2号・9号取水井について、設備の更新工事に向け、実施設計業務の予算を検討した。	浄水場担当
	②適正揚水量の管理の状況	[適切に管理：A、一部問不適合：B、全体的に問題あり：C]	A		A			各井戸とも取水能力に見合った適正な揚水量を維持している。	浄水場担当
	③井戸の定期点検の実施状況	[点検実施：A、部分的に実施：B、点検未実施：C]	A		A			毎週水位測定を実施した。 4号井戸深井戸用水位センサー交換修繕を実施した。	浄水場担当
(2) 水質監視体制の強化	①水質検査計画と水質検査の実施状況	[適切に管理：A、一部不適合：B、全体的に問題あり：C]	A	A	A	A	A	令和6年度の水質検査計画を作成し、同計画に基づき、水質検査を実施した。	浄水場担当
	②残留塩素濃度の低減のための取り組み	[適切に実施：A、部分的に実施：B、未実施：C]	A		A			井水については、県水受水残塩の数値を超えないよう配水した。	浄水場担当
(3) 水安全計画の策定	①水安全計画の策定状況	[実施済み：A、実施の検討中：B、未実施：C]	A	A	A	A	A	水質の安全性向上に寄与するよう本計画を適切に運用した。	浄水場担当
(4) 直結給水方式の拡大等	①直結給水の進捗状況	[適切に実施：A、部分的に実施：B、未実施：C]	A	A	A	A	A	直結給水方式の拡大	施設給水担当
	②貯水槽水道指導の進捗状況	[適切に実施：A、部分的に実施：B、未実施：C]	A		A			書面、口頭による指導、広報紙への掲載を行った。	施設給水担当
2 災害時でも信頼できる「強靱」な水道									
(1) 水源計画の検討	①水源計画の検討状況（H32以降計画）	[実施済み：A、実施の検討中：B、未実施：C]	A	A	A	A	A	1号・2号・9号取水井の設備更新に向けた、実施設計の予算を検討した。	浄水場担当
(2) 合理的な施設更新	①機電設備の更新における施設規模の妥当性	[計画的に実施：A、計画に遅れがある：B、見直しが必要：C]	A	A	A	A	A	西部及び中部浄水場の配水ポンプVVVF盤と電源設備の蓄電池を運転状況を踏まえて更新した。	浄水場担当
	②機電設備の水害対策の実施状況	[計画的に実施：A、計画に遅れがある：B、見直しが必要：C]	A		A			西部浄水場更新事業の基本設計において、機電設備を設置する管理棟の構造を浸水対策を施したものとした。	浄水場担当
	③機電設備のバックアップ能力の確保状況	[計画的に実施：A、計画に遅れがある：B、見直しが必要：C]	A		A			西部浄水場配水ポンプのオーバーホールを実施し、延命化を図ったことで、バックアップ能力の維持に努めた。	浄水場担当
(3) 老朽設備・老朽管の更新	①機電設備の事業計画の実施状況	[計画的に実施：A、計画に遅れがある：B、未実施：C]	A	A	A	A	A	西部浄水場更新事業の基本設計が完了し、令和7年度から順次実施設計を実施する予定である。	浄水場担当
	②一般管路の更新事業の実施状況	[計画的に実施：A、計画に遅れがある：B、未実施：C]	A		A			配水管更新 464.6m	施設給水担当
	③拡張計画の実施状況	[計画的に実施：A、計画に遅れがある：B、未実施：C]	A		A			土地区画整理事業の区画街路築造進捗に応じて配水管新設 延長197.9m	施設給水担当
(4) 基幹施設・基幹管路の耐震化	①管路の耐震化率（％）	[計画的に実施：A、計画に遅れがある：B、未実施：C]	A	B	A	B	B	耐震化率53.4％ （計画に基づき事業を執行した）	施設給水担当
	②基幹管路【口径300mm以上】の耐震化率（％）	[計画的に実施：A、計画に遅れがある：B、未実施：C]	A		A			耐震化率61.7％ （目標値 57.4％）	施設給水担当
	③基幹管路【口径200mm以上】の耐震化率（％）	[計画的に実施：A、計画に遅れがある：B、未実施：C]	B		B			耐震化率66.7％ （目標値 85.9％）	施設給水担当
(5) バックアップ機能の充実	①幹線管路のループ化の実施状況	[計画的に実施：A、計画に遅れがある：B、未実施：C]	A	A	A	A	A	最重要基幹管路は全てループ化済み。	施設給水担当
	②西部浄水場管理棟の耐震化、浸水対策の実施状況	[計画的に実施：A、計画に遅れがある：B、未実施：C]	A		A			西部浄水場更新事業の基本設計において、機電設備を設置する管理棟の構造を浸水対策を施したものとした。	浄水場担当
(6) バルブ等の点検・整備	①バルブ等の点検の実施状況	[計画的に実施：A、部分的に実施：B、未実施：C]	A	A	A	A	A	断水作業時に作動状況を確認	施設給水担当
	②西部浄水場の緊急遮断弁の更新（令和3年度で評価終了）	[計画的に実施：A、計画に遅れがある：B、未実施：C]	—		—			（令和3年度第2回経営審議会にて、令和3年度で評価終了することを報告済み）	浄水場担当
(7) 応急給水・応急復旧体制の強化	①危機管理マニュアルに基づく職員研修の実施状況	[計画的に実施：A、部分的に実施：B、未実施：C]	A	A	A	A	A	水安全部応急給水訓練実施（11月）	施設給水担当
	②関係機関と連携が図れた応急給水訓練の実施状況	[計画的に実施：A、部分的に実施：B、未実施：C]	A		A			水安全部応急給水訓練実施（11月）、消防防災フェア（3月）	施設給水担当
	③危機管理マニュアルの見直し状況	[計画的に実施：A、部分的に実施：B、未実施：C]	A		A			人事異動に伴う組織連絡網を変更した。	総務担当
(8) 災害時における関係者及び近隣事業体との連携強化	①広域連携の検討状況	[計画的に実施：A、部分的に実施：B、未実施：C]	A	A	A	A	A	上下水道事業包括委託受託者のグループ構成員による全国からの支援展開の体制づくりができている。また、令和6年11月26日付日本水道協会関東地方支部応援要請等情報伝達訓練を実施し、災害時応援等の連絡体制づくりを訓練の上、確認しました。	総務担当
(9) 連絡管整備の可能性の検討	①連絡管整備の検討状況	[計画的に実施：A、部分的に実施：B、未実施：C]	A	A	A	A	A	戸田市にて広域化会議を開催し、給水装置工事事業者指定事務の共同化に向けて提出資料の様式案を作成した。	施設給水担当

戸田市水道ビジョン2014（改訂版） 事業評価シート 令和6年度事業評価

施策	評価の視点	評価段階	(参考)R5 個別評価	(参考)R5 施策評価	R6 個別評価	R6 施策評価	コメント【実施内容・今後について】	担当名
3 お客さまと築く「持続」可能な水道								
(1) お客さまへの情報提供の充実	①紙面やHPによる情報提供の充実	[計画的に実施：A、部分的に実施：B、未実施：C]	A	A	A	A	上下水道事業広報紙「みずのめぐみ」を6月と11月に全戸・店舗等配布し、電子版をHPにて公開した。	総務担当
	②水道事業主催のイベントの実施状況	[計画的に実施：A、部分的に実施：B、未実施：C]	A		A		水道週間に係る展示（R6.6.1～6.7）	総務担当
	③施設見学会の実施状況	[計画的に実施：A、部分的に実施：B、未実施：C]	C		A		上下水道事業として、雨水貯留管見学会を実施した。	総務担当
	④双方向コミュニケーションの活用検討と実践（令和4年度から新規設定）	[計画的に実施：A、部分的に実施：B、未実施：C]	A		A		濁り水が発生した際にはソーシャルメディアを活用しリアルタイムで情報発信を行った。また、通報者から道路管理課にLINEを用いて漏水情報があった際に情報共有した。	施設給水担当
(2) お客さまニーズ把握によるサービスの充実	①アンケート調査の実施状況	[計画的に実施：A、部分的に実施：B、未実施：C]	A	A	A	A	工事見学会や戸田の水来個別配送時にアンケートを実施した。	総務担当
	②経営審議会の開催状況	[計画的に実施：A、部分的に実施：B、未実施：C]	A		A		4回開催 4月・6月（適正な水道料金の設定について）8月（上下水道ビジョン評価、包括委託モニタリング結果、予算、料金改定）1月（第3次包括委託について、決算報告、条列の一部改正、ビジョンの進捗報告）	総務担当
	③市民懇談会の実施状況	[計画的に実施：A、部分的に実施：B、未実施：C]	C		A		料金改定に伴うパネル展示を市内3地区で実施。そのうち、2回は、オープンハウス型で、職員を配置し、市民の質問に対応した。	総務担当
(3) 健全な経営と事業運営の維持	①総収支比率	[計画値どおり：A、計画値とやや乖離がある：B、計画値と乖離がある：C]	A	A	A	B	収益的収支は、黒字を維持し、事業の効率的な運営に努め、計画を達成した。	財務担当
	②累積欠損金比率	[計画値どおり：A、計画値とやや乖離がある：B、計画値と乖離がある：C]	A		A		収益的収支は、黒字を維持し累積欠損金は発生せず、計画どおりとなった。	財務担当
	③料金回収率	[計画値どおり：A、計画値とやや乖離がある：B、計画値と乖離がある：C]	A		B		有収水量の減及び費用増により、計画値92.1%に対し実績91.1%と減少した。	財務担当
	④給水収益に対する企業債残高の割合	[計画値どおり：A、計画値とやや乖離がある：B、計画値と乖離がある：C]	A		A		高利率の償還完了及び新規借入の減により、計画値を大幅に下回る結果となった。	財務担当
(4) 事務事業の効率化	①新たな業務委託の検討状況	[計画的に実施：A、部分的に実施：B、未実施：C]	A	A	A	A	次期包括委託において、西部浄水場監視制御設備保守点検業務、西部・中部・東部浄水場水質計器及び次亜塩素酸ナトリウム注入設備保守点検業務、西部・中部・東部浄水場計装設備点検業務の導入を検討した。事業の効率化を図るため、水質調査・財務会計業務等を追加した第2次包括委託の4年目であり、年間評価結果については、初年度に引き続き要求水準を満たしたものであった。	浄水場担当 料金担当
(5) 人材育成と技術者の確保	①内部研修の実施状況	[計画的に実施：A、部分的に実施：B、未実施：C]	A	A	A	A	事象(漏水等)発生時に現場で経験者から未経験者への技術継承等実施している。	総務担当
	②外部研修の実施状況	[計画的に実施：A、部分的に実施：B、未実施：C]	A		A		水道基礎講座 他20回参加	総務担当
(6) 情報の共有化	①情報システムの活用状況	[積極的に活用：A、部分的に活用：B、全く活用していない：C]	A	A	A	A	課内で情報を共有。工事、問い合わせ対応等に活用。データを毎年更新。	浄水場担当 施設給水担当
(7) 省エネルギー対策の検討	①高効率機器・省エネルギー機器の導入状況	[更新に併せて導入：A、部分的に導入：B、導入していない：C]	A	A	A	A	西部及び中部浄水場の配水ポンプVVVF盤を更新し、高効率化と省エネルギー化を図った。	浄水場担当
	②太陽光発電設備の導入の検討	[検討済み：A、検討中：B、未検討：C]	A		A		継続して稼働している。	浄水場担当
(8) 建設副産物のリサイクル推進	①建設副産物のリサイクル状況	[リサイクル率100%：A、100%未満：B、0%：C]	A	A	A	A	埋戻し材や路盤材などに再生材を採用した。	施設給水担当
	②建設副産物の発生抑制状況	[取り組み実績有り：A、取り組み検討中：B、未検討：C]	A		A		COBRISを活用し、建設副産物の再利用を行っている。	施設給水担当
(9) 老朽管解消による有効率の向上	①有効率の向上（令和3年度で評価終了）	[有効率96.7%以上：A、95%以上：B、95%未満：C]	－	A	－	A	（令和3年度第2回経営審議会にて、令和3年度で評価終了することを報告済み）	施設給水担当
	②漏水調査の実施	[計画的に実施：A、部分的に実施：B、未実施：C]	A		A		戸別音聴調査38,504戸 弁栓音聴調査274.6Km	施設給水担当
	③私道内給水管整備事業の実施（令和3年度で評価終了）	[計画的に実施：A、部分的に実施：B、未実施：C]	－		－		（令和3年度第2回経営審議会にて、令和3年度で評価終了することを報告済み）	施設給水担当